

日本測地学会第 140 回講演会プログラム

期日：2023 年 10 月 11 日（水）～ 10 月 13 日（金）

場所：仙台市福祉プラザ

講演会会場：ふれあいホール（2 階）ポスター会場：展示ロビー（2 階）賛助会員展示：ふれあいホールホワイエ（2 階）

主催：日本測地学会

講演会予定表

	10 月 11 日（水）	10 月 12 日（木）	10 月 13 日（金）
9	開場：9:00	開場：9:00	開場：9:00
	開会宣言（9:25-9:30）	地殻変動（4） （26-31） 9:15-10:45	GNSS（2）・南極測地（1） （50-55） 9:15-10:45
10	海洋測地・計測技術 （01-05） 9:30-10:45		
	休憩	休憩	休憩
11	地殻変動（1） （06-10） 11:00-12:15	地殻変動（5） （32-36） 11:00-12:15	南極測地（2）・理論測地・SAR（2） （56-61） 11:00-12:30
12			
13	昼休み 12:15-13:30 ／IAG 小委員会準備会 12:20-13:20	昼休み 12:15-13:30 ／評議会 12:20-13:20	昼休み 12:30-13:30 ／学生による講演会優秀発表賞選考会議 12:40-13:20
14	地殻変動（2） （11-15） 13:30-14:45	地殻変動（2）・地球回転・測地（1） （37-41） 13:30-14:45	SAR（3）・惑星測地・GGOS（1） （62-68） 13:30-15:15
	休憩	休憩	
15	地殻変動（3） （16-20） 15:00-16:15	測地（2）・SAR（1）・GNSS（1） （42-47） 15:00-16:30	休憩
16			GGOS（2） （69-74） 15:30-17:00
	休憩		
17	重力 （21-25） 16:30-17:45	坪井賞授賞式（16:30-16:45） 坪井賞記念講演（48-49） 16:45-17:45	学生による講演会優秀発表賞受賞者 発表・閉会宣言 17:00-17:10
18	ポスターコアタイム （P01-P29） 17:45-19:15		
19		懇親会（18:30-20:30）	

【口頭発表】発表時間は1件15分（発表12分、質疑応答3分）とします。現地参加者は個人のPCからHDMI接続での発表になります。Zoom接続は不要です。リモートで参加される発表者はZoom経由での発表となります。接続先等の詳細は9月26日（火）以降、参加登録をされた方を対象としてお知らせします。

【ポスター発表】コアタイム：10月11日（水）17:45～19:15（掲示開始は11日正午以降、掲示終了は13日13:30まで）ポスターサイズは縦180cm、横100cm以内で作成して下さい。

【懇親会】10月12日（木）18:30～20:30 ホテルモントレ仙台 3F 大宴会場「翠鳴館」で行います。

【評議会】ふれあいホールで実施。飲食禁止です。【学生による講演会優秀発表賞選考会議】10階 第4研修室で実施。飲食可です。【IAG小委員会準備会】9階 和室で実施。飲食可です。

【賛助会員展示】ふれあいホール入口のホワイエに賛助会員の展示ブースを設置します。

【事前参加登録】講演会に参加される方は、現地参加・リモート参加を問わず、9月25日（月）までに Google フォーム（<https://forms.gle/j6T2FxV3NoUphzdV9>）を用いて事前登録をお願いします。

(#:発表者, *:学生による講演会優秀発表賞審査対象者, ○:リモート発表)

2023 年 10 月 11 日(水)

開会宣言 (9:25-9:30)

海洋測地・計測技術 (9:30-10:45)

座長:飯沼卓史, 永江航也

01 9:30-9:45

ウェーブグライダーを用いた GNSS-音響測距結合方式の海底地殻変動観測の今後の展望

#飯沼卓史, 木戸元之, 福田達也
太田雄策, 富田史章

02 9:45-10:00

GNSS-A 観測に用いる音響波形の読み取りに関する研究

#吉住優懂*, 横田裕輔, 石川直史
永江航也, 渡邊俊一, 中村優斗

03 10:00-10:15

SGO-A での音響信号読み取り方法の改良

#永江航也, 横田裕輔, 石川直史
渡邊俊一, 中村優斗

04 10:15-10:30

海底水圧計に主成分分析を適用した非定常地殻変動検出の試み

#大塚英人*, 太田雄策, 日野亮太

05 10:30-10:45

将来測位衛星搭載に向けた高精度加速度計の開発

#瀧口博士, 長野晃士, 和泉 究
河野 功, 早河秀章, 新谷昌人

-休憩-

地殻変動(1) (11:00-12:15)

座長:大園真子, 田中優介

06 11:00-11:15

新潟—神戸ひずみ集中帯における非弾性変形の地域性と応力依存性

#山田直輝*, 鷺谷 威

07 11:15-11:30

長岡平野西縁断層帯周辺における GNSS 地殻変動観測網の稠密化の検証

#鷺谷 威

08 11:30-11:45

Quantitative analysis of inelastic crustal deformation in Central Japan

#Arong BAI*, 鷺谷 威

09○ 11:45-12:00

紀伊半島北部の隆起のモデル

#橋本 学

10 12:00-12:15

2022 年 3 月に台湾東部で発生した地震群に伴う断層すべりと 2022 年台東地震への影響

#石丸雄理*, 高田陽一郎
Kuo-En Ching, Wu-Lung Chang

昼休み (12:15-13:30)

IAG 小委員会準備会 (12:20-13:20)

地殻変動(2) (13:30-14:45)

座長:水藤 尚, 加納将行

11 13:30-13:45

GEONET による日本列島周辺のプレート境界面上の断層すべりの検知能力と検知時間

#水藤 尚

12 13:45–14:00

Creep characteristics along the central part of the Philippines Fault on Leyte Island from ALOS-2 time-series analysis

#Yagizalp Okur*, 福島 洋

13 14:00–14:15

駿河トラフ浅部におけるやや長期的なスロースリップイベントの検討

#菊地祐次*, 三井雄太, 加納将行

14 14:15–14:30

ネパール・ヒマラヤ断層帯のプレート間固着と地震ポテンシャル (2)

#田部井隆雄, 大園真子

15 14:30–14:45

東北地震時の地殻変動および地上重力変化に基づいた半無限モデルと球対称モデルの再現性評価

#西上直志*, 風間卓仁

–休憩–

地殻変動(3) (15:00–16:15)

座長: 矢部 優, 富田史章

16 15:00–15:15

物理深層学習の断層すべり計算への適用: ばねブロックモデルにおける SSE 数値計算・摩擦特性推定・すべり予測

#福島陸斗*, 加納将行, 平原和朗

17 15:15–15:30

歪・傾斜・GNSS の統合解析による南海トラフ深部スロースリップの時空間滑り分布推定手法の開発

#矢部 優, 落 唯史, 松本則夫, 松澤孝紀

18 15:30–15:45

ALOS-2 SAR データで検出した硫黄島の急激な地殻変動とその物理的解釈

#小船勇魚*, 高田陽一郎

19 15:45–16:00

Pre-eruptive Geodetic Observations of the 2020 Taal Volcano Eruption: Insights into its pressure source

#Lincoln Olayta*, 福島 洋

20 16:00–16:15

東北日本の GNSS 局季節上下変動再考

日置幸介, S. Zheng, Z. Zhang, H. Yan

–休憩–

重力 (16:30–17:45)

座長: 今西祐一, 新谷昌人

21 16:30–16:45

3つの地点における絶対重力測定によるシントレックス CG-3M 重力計の非線形感度曲線の検定

#今西祐一, 本多亮, 丸藤大樹

西山竜一, 名和一成

22 16:45–17:00

LaCoste 型相対重力計の重力連続観測で検出されたトンガ火山噴火の気圧変動に伴う重力変化(第2報)

#小田雄大*, 風間卓仁

23 17:00–17:15

山葵沢地熱地域における超伝導重力計を用いた重力連続観測

#後藤宏樹, 池田 博, 堀川卓哉, 中西繁隆

阿島秀司, 浅井寛明, 坂本 翔, 武山 達

24 17:15-17:30

小型絶対重力計 TAG-1 の野外観測へ向けた改良と
系統誤差評価

#新谷昌人, 風間卓仁, 西島潤, 奥野淳一
青山雄一, 土井浩一郎, 葛西恵介
吉田真人, 坪川恒也

25 17:30-17:45

精密重力ジオイド構築に向けた航空重力測量

#小川拓真, 中島正寛, 菅原安宏, 酒井和紀
加藤知瑛, 市村和輝, 松尾功二

ポスターコアタイム (17:45-19:15)

P01-P29

2023 年 10 月 12 日(木)

地殻変動(4) (9:15-10:45)

座長: 大野圭太郎, 久保久彦

26 9:15-9:30

リアルタイム GNSS 測位におけるノイズ特性 —地殻
変動の即時把握の高度化に向けて—

#高松直史, 宮崎隆幸, 大野圭太郎
村上真亮, 小代知波, 太田雄策

27 9:30-9:45

推定の不確実性を定量化した圧力源モデルリアルタ
イム推定手法の開発

#大野圭太郎, 太田雄策, 高松直史, 宗包浩志

28 9:45-10:00

津波波源データを用いた海域浅部地震の矩形断層面
推定

#久保久彦, 久保田達矢, 鈴木 亘, 中村武史

29 10:00-10:15

歪み速度場推定の新手法の開発: スパースモデリン
グの適用

#野末陽平*, 深畑幸俊

30 10:15-10:30

平行移動とオイラーベクトル推定に基づく GNSS 速度
ベクトルのクラスタリングによる地殻ブロックの同定

#矢野恵佑, 高橋温志, 加納将行

31 10:30-10:45

アラスカ中南部クック湾周辺における時定数の異なる
スロースリップイベント間の関係

#岡田悠太郎*, Jeffrey Freymueller, 西村卓也

—休憩—

地殻変動(5) (11:00-12:15)

座長: 西村卓也, 上田 拓

32 11:00-11:15

ALOS-2 時系列解析に基づく四国北東部における中
央構造線の地震間変位速度場検出

#下妻康平*, 木下陽平

33 11:15-11:30

西日本の GNSS 速度場の時間変化に基づく粘弾性変
形に関する考察

#西村卓也

34 11:30-11:45

地殻変動モデリングにおける Green 関数の比較(Ⅱ)

#高田大成*, 田中愛幸

35[○] 11:45-12:00

ALOS および ALOS-2 による雲仙溶岩ドームの変
形検出と物理モデリング

#笠井隼稀*, 高田陽一郎, 松島 健, 高木朗充

36 12:00-12:15

現在の地殻変動から推定される日本でのせん断ひずみエネルギーの変化と地殻内地震活動との空間的相関関係

#上田 拓, 西村卓也

昼休み (12:15-13:30)

評議会 (12:20-13:20)

地殻変動(6)・地球回転・測地(1)

(13:30-14:45)

座長:市川隆一, 富田史章

37^o 13:30-13:45

精密水準測量によって検出された御嶽山の上下変動
(2021-2023 年)

#村瀬雅之, 山中佳子, 前田裕太, 金 幸隆
堀川信一郎, 小池遥之, 竹脇 聡, 浅井 岬
松廣健二郎, 松島 健, 内田和也, 上土井歩佳
✕野 辰乃介, 池田宝佑, 鈴木陽太, 吉川 慎
井上寛之, 若林 環, 成田翔平, 及川 純
大園真子, 手操佳子, 佐藤明日花, 西田貞明
百合本岳, 山田 晋也, 金子祐也, 柳澤宏彰
國友孝洋, 木股文昭

38 13:45-14:00

新潟神戸歪集中帯東部における高解像度な地震間
地殻変動の検出と歪速度場の推定

#長岡頌悟*, 高田陽一郎, 西村卓也, 鷺谷 威

39 14:00-14:15

2015 年以降のチャンドラー極運動異常における大気・
海洋・陸水の寄与

#山口竜史*, 古屋正人

40 14:15-14:30

公共測量/基準点測量の現時標準的な仕様とその品質の検討 その1-トータルステーションの測角, 測距, 致心における不確かさの見積もり

#村上真幸, 成田次範, 藤田晃輔, 栗原 淳
石井 諄, 中山 剛, 田中博幸

41 14:30-14:45

公共測量/基準点測量の現時標準的な仕様とその品質の検討 その2-電子基準点に準拠した単路線方式の多角測量

#黒石裕樹, 村上真幸, 山口和典, 小野田泰久

-休憩-

測地(2)・SAR(1)・GNSS(1) (15:00-16:30)

座長:深谷俊太郎, 横田裕輔

42 15:00-15:15

干渉 SAR 時系列解析を組み入れた地殻変動補正に向けて ~干渉 SAR の誤差の空間分布を考慮した補正パラメータの評価~

#深谷俊太郎, 高木 悠, 吉川忠男, 中久喜智一
マービット京湖, 三木原香乃, 古屋智秋
小林知勝, 山下達也

43 15:15-15:30

アラスカ・フェアバンクス近郊における凍土凍結・融解に伴う地表面変位

#阿部隆博, 岩花 剛, 飯島慈裕

44 15:30-15:45

測地データを活用するためのデータ論文の役割

#石川直史, 横田裕輔

45 15:45-16:00

測地学データポータルについて

#横田裕輔, データ作業部会

46 16:00-16:15

地殻変動を加味した RTK 補正データの配信手法

#池田将平, 伊田裕一, 野村宏利
近藤 徹, 大西健広

47 16:15-16:30

GPS データの年周変化と積雪量の関係—富山県立
山室堂の事例—

#堀田耕平

坪井賞授賞式・記念講演 (16:30-17:45)

座長: 安藤 忍

○ 授賞式 16:30-16:45

48 団体賞 16:45-17:15

GGOS Japan: 全球統合測地観測システム (GGOS)
の Affiliate としての測地学への貢献

#大坪俊通, 宮原伐折羅

49 個人賞 17:15-17:45

人工衛星による重力観測から捉えた地球の質量収支
及び形状に関する研究 —特に陸水変動研究への応
用と重力ジオイド・モデル構築—

#松尾功二

懇親会 (18:30-20:30)

2023 年 10 月 13 日 (金)

GNSS(2)・南極測地(1) (9:15-10:45)

座長: 入江芳矢, 加納将行

50 9:15-9:30

JISLaD における GEONET 観測データのマルチ GNSS
解析手法の考察

#島田誠一, 藤井綾香, 伊藤広和
多田吉成, 田部井隆雄

51 9:30-9:45

地盤変動情報 (JISLaD) の実際の測量への応用 (そ
の 3) 川崎市盛土造成地防災監視(続報)

植田伸一, #里村幹夫, 伊藤広和, 多田吉成
森永貴之, 島田誠一, 末野幹雄, 藤井綾香
庭野 基, 相京幸一, 田部井隆雄, 原 天流
道家涼介, 鳴海智博, 山口範洋

52[○] 9:45-10:00

RINEX データ前処理ソフトウェア”RINGO”の更新

#川元智司, 高松直史, 熊谷光起, 阿部聡

53 10:00-10:15

ハイレート GNSS データのノイズ解析に基づくテンプレ
ートマッチング数値実験

#新井璃子*, 三井雄太

54 10:15-10:30

可搬型絶対重力計 A10 を用いた南極宗谷海岸にお
ける繰り返し絶対重力観測

#岡 大輔, 新谷昌人, 土井浩一郎, 青山雄一
福田洋一, 奥野淳一, 服部晃久, 風間卓仁
西島 潤

55 10:30-10:45

GIA の長波長成分が南極質量収支推定に与える影響
#入江芳矢, 奥野淳一

-休憩-

南極測地(2)・理論測地・SAR(2)

(11:00-12:30)

座長: 田中愛幸, 姫松裕志

56^〇 11:00-11:15

Sentinel-1 衛星データを用いた東南極 Totten 氷河付近の季節的な速度変化の測定

#池谷 駿*, 古屋正人

57 11:15-11:30

体積膨張に伴う地殻変動に及ぼす自己重力の効果
(I)

#田中愛幸, 金子直樹, Volker Klemann

Zdeněk Martinec

58 11:30-11:45

人工衛星重力ミッション高度化へ向けた、非線形レオロジーを考慮した粘弾性変形理論の開発(I)

#中小路一真*, 田中愛幸, Volker Klemann

Zdeněk Martinec

59 11:45-12:00

Synspective の小型 X バンド SAR 衛星(StriX)コンステレーションと初 SAR 干渉画像

#森下 遊, 藤丸周士, Gerald Baier

Mauro Mariotti D'Alessandro

今泉友之, 夏秋 嶺

60 12:00-12:15

InSAR 時系列解析と GNSS 観測を用いた宅地地盤変動の検出

#宮嶋愛菜*, 福島 洋, 出町知嗣, 太田雄策

61 12:15-12:30

InSAR によるアラスカ北部プルードー湾周辺地域における凍土変動に伴う地表変位の検出

#近田茉莉花*, 古屋正人

昼休み (12:30-13:30)

学生による講演会優秀発表賞選考会議

(12:40-13:20)

SAR(3)・惑星測地・GGOS(1) (13:30-15:15)

座長: 福島 洋, 木下陽平

62 13:30-13:45

ユーコン準州ビーバークリーク周辺における永久凍土の融解沈下: ALOS-2 高分解能 InSAR 画像と現地観測による比較検証

#柳谷一輝, 古屋正人, 岩花 剛

Antoine Séjourné

63 13:45-14:00

火山観測用可搬型レーダー干渉計(SCOPE)により検出された十勝岳 62-II 火口周辺における地殻変動

小澤 拓, #姫松裕志, 宮城洋介, 奥山 哲

64 14:00-14:15

GNSS と全球大気モデルを融合した InSAR 大気補正モデルの開発進捗

#木下陽平

65 14:15-14:30

L バンドマイクロ波による海域豪雨監視の条件: SAR と GNSS-R の現状

#古屋正人

66 14:30-14:45

L バンド干渉 SAR による地殻変動検出における対象物の水分量変化の影響

#藤原 智

67 14:45-15:00

フォボスの形状モデル誤差が重力推定に及ぼす影響
の評価

#山本圭香, 松本晃治, 菊地翔太
野田寛大, 荒木博志, 並木則行

68 15:00-15:15

全球統合測地観測システム -最近の活動報告

#宮原伐折羅

-休憩-

GGOS(2) (15:30-17:00)

座長: 中村優斗, 荒木博志

69 15:30-15:45

2022 年度下里水路観測所 SLR/GNSS コロケーション
測量について

#中村優斗, 永江航也, 伊牟田圭
黒田泰成, 橋本友寿, 横田裕輔

70 15:45-16:00

JAXA 筑波宇宙センターにおける SLR-GNSS 局の
ローカルタイ測量

#吉藤浩之, 上芝晴香, 古居晴菜, 中久喜智一
鈴木 啓, 本田昌樹, 森 克浩, 中村信一
松本岳大, 中嶋彩乃, 濱田聖司, 小門研亮

71 16:00-16:15

MADOCA を用いたマルチ GNSS 軌道情報の解析と公
開

#小代知波, 大野圭太郎, 高松直史
若杉貴浩, 秋山恭平

72 16:15-16:30

Omni-SLR の開発(1) 光学系サブシステム

#荒木博志, 大坪俊通, 小林美穂子
横田裕輔, 松本岳大

73 16:30-16:45

Omni SLR の開発(2) 追尾系・制御系サブシステム

#大坪俊通, 小林美穂子, 荒木博志
横田裕輔, 河野賢司, 松本岳大

74 16:45-17:00

Omni-SLR の開発(3) タイミング計測系サブシステム

#河野賢司, 横田裕輔, 大坪俊通
荒木博志, 松本岳大

学生による講演会優秀発表賞受賞者 発表・閉会宣言 (17:00-17:10)

ポスター発表

掲示可能期間: 10 月 11 日正午~10 月 13 日 13:30

コアタイム 2023 年 10 月 11 日(水)

(17:45-19:15)

P01 革新的超高解像度リアルタイム水蒸気観測が
解き明かす積乱雲発生の前兆と発達過程 その 1 -
研究の概要と 2023 年度計画-

#市川隆一, 太田雄策, 荒木健太郎, 田尻拓也
藤田実季子, 氏原秀樹, 山田崇貴, 寺家孝明
今井 裕, 箕輪昌裕, 高島祐弥

P02 広帯域アンテナの開発

#氏原秀樹

P03 気象研究所における GNSS 対流圏遅延補正プ
ログラムの開発(第 4 報)

#奥山 哲, 安藤 忍, 新堀敏基, 鬼澤真也

P04 2011 年東北地方太平洋沖地震前の時期における様々なハイレート GNSS データのノイズ

#三井雄太, 新井璃子

P05 小型 GNSS 観測装置の開発と試験観測

#松本紗歩, 小林知勝, 中川弘之
松尾功二, 古屋智秋

P06 電子基準点のマルチ GNSS アンテナ位相特性モデルに関する研究

#中川弘之, 高松直史, 宮崎隆幸, 村上真亮

P07 トンガ海底火山噴火に伴う電離圏擾乱: ニュージージーランドの GNSS 稠密網を用いた解析

#日置幸介, I. N. Muafiry, D. D. Wijaya, I. Meilano

P08 ALOS、Sentinel-1 及び LiCSBAS で検出した日本全国都市域の 15 年間の地盤変動

#森下 遊, 杉本 隆, 中村良介
堤 千明, 夏秋 嶺, 島田政信

P09 多様な事前分布に基づく音速水平勾配を仮定した GNSS 音響測位解析手法の開発

#富田史章

P10 GNSS-A 観測時のウェーブグライダーの運動姿勢の把握

#木戸元之, 村井菜々海, 飯沼卓史
福田達也, 太田雄策, 富田史章

P11 東北大学における GNSS 観測ナレッジベースの構築

#出町知嗣, 海田俊輝, 鈴木秀市
佐藤真樹子, 太田雄策, 三浦 哲

P12 京都および水沢での気圧連続観測に基づく MEMS 圧力センサーの性能評価

#風間卓仁, 小田雄大, 田村良明, 坂上 啓

P13 CG-5 による 2023 年屈斜路カルデラ周辺地域での相対重力測定

#丸藤大樹*, 名和一成, 高橋浩晃
本多 亮, 岡 大輔

P14 2018 年フィジー深発地震に伴う地震時の重力変化と地殻変動

#田中優作

P15 重力鉛直勾配測定における再現性の検討

#本多 亮

P16 2.5-D InSAR and GNSS Monitoring of the Post-Seismic Ground Deformation of the 2011 Mw 9.0 Tōhoku Earthquake and 2014 Mw 6.2 Nagano Earthquake along the central-northern Itoigawa-Shizuoka Tectonic Line Fault system

#Yuchen Li*, Takeshi Sagiya

P17 2014 年南アフリカオークニー地震によるひずみ地震動のモデリング

#大久保慎人

P18 2012 年および 2022 年の北海道北部の群発的な地震活動と稠密 GNSS 観測が捉えた非定常地殻変動

#大園真子, 高橋浩晃, 山口照寛

P19 Strain-energy release in the coseismic and postseismic period of inland earthquakes

#Angela Meneses-Gutierrez, Tatsuhiko Saito

P20 2017-2022 年における琉球海溝 SSE の時空間
発展

#坂上 啓, 田中愛幸, 加納将行

P21 1987-1989 年の東海長期的 SSE の位置・規模
の推定

#落 唯史

P22 インドネシアのスマラン市近郊における稠密
GNSS 観測網の構築

#伊藤武男, Arif Aditiya, Cecep Pratama, Agustan

P23 伊豆大島多成分ひずみ計における過去 10 年分
の解析

#安藤 忍, 小久保一哉, 川口亮平
木村一洋, 山本哲也

P24 琉球島弧、南琉球ブロックにおける SSE の検出
の試み

#畔蒜尚幸*, 大久保慎人

P25 海岸段丘の形成過程および粘弾性応答を考慮
した喜界島の地殻変動史

#神谷 猛*, 伊藤武男

P26 アトサヌプリ火山群の収縮変位の定量的分析

#藤原 智, 三木原香乃, 市村美沙
石本正芳, 小林知勝

P27 すべり分布推定における相関距離の同時評価
とその適用

#山田太介*, 太田雄策

P28 西南日本のプレート境界すべり・ブロック運動の
時空間発展の推定・分離精度評価

#田中優介, 加納将行, 太田雄策
西村卓也, 矢野恵佑

P29 長期の衛星重力、衛星高度計データを用いた南
極氷床変動と GIA の分離

#山本圭香, 奥野淳一, 入江芳矢
施 天焰, 土井浩一郎, 福田洋一

日本測地学会公開講座

「世界をつなぐ測地学—地球の形を正確に測るには—」

日時: 2023年10月14日(日) 13:30~16:00 (開場13:00)

場所: 仙台市福祉プラザ ふれあいホール

開催形式: オンサイトとオンライン(Zoom)のハイブリッド形式

対象: どなたでも(参加費無料) ※事前のお申し込みが必要です。

講演者: 大坪 俊通(一橋大学), 宮原 伐折羅(国土地理院),

青山 雄一(国立極地研究所), 三浦 哲(東北大学) [講演順]

参加申込URL: <https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSegOb1vPsGu6WKW-EreEfxSBKoOhQgNiCQIAZDtpA9nOPoU3g/viewform>

日本測地学会公開講座

世界をつなぐ測地学

地球の形を正確に測るには

2023年10月14日(土) 13:30-16:00

開催形式 オンサイトとオンライン(Zoom)のハイブリッド形式

対象 どなたでも(参加費無料) ※事前のお申し込みが必要です。

講演

-  地球の大きさをミリメートルの精度で測るには？
いつの世もからみあう時間と位置
大坪 俊通(一橋大学大学院社会学研究科 教授)
-  測地学の国際連携
変動する地球を正確に測るために
宮原 伐折羅(国土交通省国土地理院)
-  地球環境監視の最前線—南極—で地球の変動を測る
青山 雄一(国立極地研究所先端研究推進系 准教授)
-  防災を支える測地学
—地球の形を正確に測って災害軽減—
三浦 哲(東北大学大学院理学研究科 教授)

会場 仙台市福祉プラザ ふれあいホール
宮城県仙台市青葉区五橋2丁目12-2
市営地下鉄南北線「五橋駅」南1番出口から徒歩3分



詳細・お申込み
日本測地学会 Web をご覧ください。
[日本測地学会 公開講座](#) [検索](#)

参加登録フォーム 

主催 日本測地学会 共催 東北大学大学院理学研究科 お問合せ 講演会プログラム委員会 prgm@geod.jpn.org

賛助会員展示

講演会場のふれあいホール入り口のホワイエに展示ブースを設置します。賛助会員のうち希望された企業・団体の展示となります。展示は10月11日(水)午前から10月13日(金)午後までとなります。休憩時間等に是非お立ち寄り下さい。

出展企業・団体(申し込み順):

- ソフトバンク株式会社 <https://www.softbank.jp/biz/services/analytics/ichimill/>

- 展示内容:ソフトバンクでは、準天頂衛星「みちびき」などのGNSSから受信した信号を利用したRTK測位サービス「ichimill(イチミル)」を提供しております。

また、子会社のALES株式会社より、全国3,300ヵ所以上のソフトバンク独自基準点で観測された、観測データのご提供も実施しております。



- イネーブラー株式会社 <https://www.enabler.co.jp>

- 展示内容:

GNSS受信ハードウェア、関連技術、ソリューションの紹介を行います。

GEM-5	PolaRx5	TRIUMPH-3NR	JAVAD社 GrAntシリーズ
			
・低消費電力、防水防塵機能が特長のGEMシリーズ最新機種	・過酷な電波受信環境へ耐性をもつ受信機 ・UNAVCOやIGSで採用実績がございます	・持ち歩きに最適なアンテナ一体型受信機 ・静止観測やRTKのほかPPPも可能です	・過酷な電波受信環境へ耐性をもつアンテナ

詳細は担当(伊藤: itoh@enabler.co.jp)までお尋ねください。

- つかさ電子株式会社 <https://www.tsukasa-e.co.jp>

- 展示内容:

東北大学とアドバリーシステム(株)が共同開発した低廉GNSS測地観測システム機器を展示します。Septentrio社のmosaic-X5を搭載し、高精度RTK測位が可能です。取得したデータはSDカードに保存します。また、LANポートを使ってモバイルルーター等と接続し、遠隔でのデータ取得も可能です。

屋外での使用を想定した設計で、省電力、動作温度範囲-10℃~+60℃、バックアップ対応、瞬電・停電対策機構も搭載しています。



会場案内

講演会会場：宮城県仙台市福祉プラザ ふれあいホール

<http://www.shakyo-sendai.or.jp/n/aboutus/plaza>

講演会会場アクセス：

- 【バス】 市営バスまたは宮城交通バス(仙台駅前から約3分)
「五橋駅」下車 徒歩4分
「福祉プラザ前」下車 徒歩3分
- 【地下鉄】 市営地下鉄南北線(仙台駅から「富沢行き」に乗車 約1分)
「五橋駅」下車 南1番出口から徒歩3分
- 【徒歩】 仙台駅から愛宕上杉通経由で徒歩17分

懇親会会場：ホテルモントレ仙台 3F 大宴会場「翠鳴館」

<https://www.hotelmonterey.co.jp/sendai/access/>





The Geodetic Society of Japan